

事務事業 No./名 称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 <input type="checkbox"/> 支援部門 健福-21 高齢者生活支援事業										
主管課	高齢者いきいき課					関連課					
分野名	健康福祉										
目標 (目標値)	低所得者に対しても介護保険法外においても負担軽減を図る。										
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人					
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯					
	事業の対象者数	411人		372人		330人					
運営資源状況	決算値(千円)	11,271		10,263		12,297					
	(国・県)	0		0		0					
	(負担金等)	0		0		0					
	(一般財源)	11,271		10,263		12,297					
	人員配置数	0.5人		0.5人		0.4人					
	人 件 費(千円)	3,961		4,127		3,652					
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	15,232		14,390		15,949					
	市民1人当りの経費(円)	86		81		90					
	対象者1人当りの経費(円)	37,061		38,683		48,330					
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団 体との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
紙おむつ等支給達成率	◎	目標値									
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
高齢者生活支援事業	11,271	高齢者生活支援事業	310	今後の 方向性	B	理由 ・手法	介護保険第2号被保険者(65歳未満)に対する紙 おむつ支給を継続して行っていく。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	市内の高齢者数、認定者数が増加している中で、紙おむつの支給件数も伸びており、支給基準の見直しなどについて検討しなければならない。											
課題解決のための取組	紙おむつの支給基準については、平成26年度から月当たりの上限額を7,000円(税込)に設定し、超過額は自己負担を求めることとした。							取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決			
未解決の課題												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	介護保険第1号被保険者(65歳以上)に対する紙おむつ支給については、平成26年度以降、介護保険事業特別会計からの支出としており、「高齢者生活支援事業」からの支出は第2号被保険者(65歳未満)のみを対象とした。緊急ショートステイについては事業を継続するが、平成26年度以降、受入れ施設に対する委託料の支払いを廃止した。平成24年度から2年間限定で行った介護従事者資格取得報償費の支給については、平成25年度をもって事業を終了した。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	B	
※口事業完了												
				評価者名	高齢者いきいき課担当課長 伊藤 元敦							

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
高齢者生活 支援事業	主な 個別 事業	要介護3～5の認定者、要支援1・2または要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対する紙おむつの支給や、介護者の入院など緊急でショートステイを行う等により、介護者等の負担軽減を図る。				○	○	○	○
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1197	介護従事者資格取得報償費	1,400	1,120	○	○	○	○
		40	訪問介護利用者負担軽減措置事業審査手数料	1	0	○	○	○	○
		40	紙おむつ支給事業委託料	9,795	9,801	○	○	○	○
		1197	緊急ショートステイ受け入れ事業委託料	550	350	○	○	○	○
40	社会福祉法人等利用者負担額軽減制度事業補助金	10	0	○	○	○	○		
40	訪問介護利用者負担軽減措置事業扶助費	30	0	○	○	○	○		
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業								
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業								
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業								
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業								
		ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									